

■ ピース缶のある朝の風景

朝だ。真新しいピース缶にカーテンの隙間からこぼれる朝日が当たっている。

「プシュッ」

刃を立てた瞬間のこの感触。

素晴らしい一日の始まりにこそふさわしい。

「シーッ」

鉄が鉄を切る小気味よい切れ味。

何とも言えない馥郁たる香りが辺りを包む。



■ 最高級の喫味

喫煙したときの喫味（きつみ）。

味のみならず煙の色・香りまで総合的に評価される。

喫味チェックが時系列的に行われるのはピース缶入りのものだけ。

なぜって、紙箱のものは当たり前に劣化していくから。

逆にほぼ真空パックされているピース缶の中では、良い葉っぱが熟成されていく…。

■ 匠の技

最高度の喫味を表現するために、ピース缶には匠の技ともいえるノウハウが凝縮する。

厚いスズメッキ。ハンダ付け。材料には厚く塗布された特殊な食用油。

水洗い。乾燥。滅菌。すべては喫味のために。

スチール缶7つの約束のうち、「密封・防湿性」「遮光性」「耐衝撃性」「耐水耐熱性」を保証している。もちろん「リサイクル性」も。

密封しているからフィルターも接着剤もなじまない。紙は最高級のライスペーパー。

匠の技を結集したピース缶。数あるたばこの中、ピースだけがそれに適う。

ピース缶誕生から55年間。これ以上の優位性を持つ容器は未だ現れていない。

協力／井上製罐株式会社
全日本一般缶工業団体連合会